

市長の大使館訪問について

7月17日（木）、市長がアメリカ、イギリス、ドイツ大使館を訪問し、本市の魅力や強みをPRいたしましたのでご報告します。

1 目的・成果

大使館を訪問し、本市の魅力や強みをPRすることで、信頼関係の構築、母国への広報につなげるものです。なお、各国大使館からは、大阪・関西万博期間中に現地から来日する産業使節団らに、浜松への訪問をするよう推奨するとのコメントをいただくことができました。

2 背景

- ・本市の厚い産業基盤や日本を代表する大企業から固有の高い技術力を持つ中小企業まで、多くの企業が集積している点、さらに、東京と大阪の中間地点にある「地の利」を生かし、海外からの投資拡大を目指しております。
- ・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催をはじめ、海外の皆様が来日される機会を捉え、産業を中心とした「21世紀のものづくりのシンボル」の街であることを積極的に情報発信しております。

3 市長からの説明（本市の魅力や強み）

- ・自動車やバイクなどを中心とした日本有数のものづくりの街
- ・浜松市地域の産業発展の系譜、やらまいか精神による世界的企業の発祥の地
- ・東京と大阪の中間地点であり交通アクセスが良好
- ・温暖な気候、「うなぎ、みかん、メロン」などの食材の宝庫
- ・基本的な都市機能を完備
- ・寛容な風土、市民性であり、外国人は重要なパートナーと認識

4 訪問スケジュール

4月のマレーシア、ポルトガル、シンガポール大使館訪問に続き、今回、以下の日程で大使館を訪問しました。

【7月17日（木）】

・ 9 : 00～9 : 30

ドイツ連邦共和国大使館（東京都港区南麻布4丁目5-10）

首席公使 Martin HUTH（マルティン・フート）氏

・ 10 : 15～11 : 00

アメリカ合衆国大使館（東京都港区赤坂1丁目10-5）

商務担当公使 アラン・ターリー 氏

・ 11 : 45～12 : 15

英国大使館（東京都千代田区一番町1）

公使参事官（北東アジア地域貿易担当） グレッグ・ガードナー 氏

英国大使館訪問の様子

